

総 会 決 議

社団法人 日本動物園水族館協会は、総裁 秋篠宮文仁親王殿下のご臨席のもと、「豊富な緑や清澄な水を有する自然に満ちた環境保護都市」山口市において、平成22年度通常総会を開催し、「自然・環境・人間一生涯学習における動物園・水族館の役割」をテーマに掲げ、動物園・水族館が取り組むべき役割や行動について討議した結果、次のことを決議します。

1 環境保全と動物園・水族館

地球規模の環境問題を解決するために世界各国があらゆる努力をしている中、動物園・水族館の将来と生物多様性保全のために、国内外の様々な機関と連携し、調査・研究、環境教育、種の保存事業を推進し、自然と共生していく持続可能な社会の実現とその社会づくりに主体的に参画できる人材の育成に寄与します。

2 教育と動物園・水族館

動物園・水族館の原点である生きている動物の飼育展示の意義と命の大切さを伝えることができる最大かつ身近な機関の一つであることを認識し、命の大切さ、動物との共生、環境保全等について、教育機関、自治体、地域のコミュニティーのみならず、社会教育機関、関係省庁等と連携して、様々な場所における教育活動に寄与します。

3 記念講演・課題講演と動物園・水族館

「カルスト台地のコウモリたち」の記念講演及び生涯学習の課題講演を通じて自然共生思想の普及及び生涯学習の重要性を再認識するとともに動物園・水族館が生きている動物の展示を通じ生涯学習の重要な場として地域社会に貢献できるよう努力します。

4 社会と動物園・水族館

動物園・水族館が実施している種の保存、生涯学習、調査・研究等は現に一般社会から高く評価されていることを関係機関に働きかけ、その社会的使命の重みに鑑み、現状の「動物取扱業者」としての位置づけを再考するよう強く要望します。

同時に、私たちは、日本動物園水族館協会倫理要綱並びに、倫理要綱遵守に関する決議に則り、動物園水族館の社会的使命の実現に向け、尚一層努力してまいります。

平成22年5月28日

社団法人日本動物園水族館協会
平成22年度通常総会並びに協議会